

平成25年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書
（研究成果公开发表（B））

平成25年11月11日

独立行政法人 日本学術振興会理事長 殿

		課題番号	2	5	5	6	0	0	6
主催団体所在地	〒600-8107 京都府京都市下京区五条通新町東入東銚屋町167 ビューフォート五条烏丸3階								
主催団体名	公益社団法人 日本放射線技術学会	代表者職名	代表理事						
		代表者氏名	真田 茂 印						

シンポジウム・ 学術講演会名	平成25年度市民公開講座「今を問うー私たちの暮らしと医療被ばくー」							
実施主体 (支部等)	公益社団法人 日本放射線技術学会 学術委員会	代表者職名	学術委員長					
		代表者氏名	土井 司					
開催日	平成25年10月19日(土)～平成25年10月19日(土) (1日間)							
会場名	アクロス福岡 開催地：福岡県福岡市							
参加者数 (※交付申請書に記載 した参加予定者数)	186 人 (300 人) ※		/					
費目別収支決算表								
実支出額の 使用内訳	合計	会場借料				消耗品費	人件費・謝金	その他
	900,064円 (内利息64円)	225,540円				0円	0円	674,524円
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他			
	900,000円	380,000円	90,000円	40,000円	390,000円			

シンポジウム・学術講演会の目的	<p>2011年3月11日の東日本大震災に伴って発生した福島第一原子力発電所事故により、放射線や被ばくをキーワードとした多くの情報が連日マスメディアに取り上げられ、いっきに市民に向かって氾濫し、これまで放射線についてなじみのなかった多くの市民が混乱したことは否めない。また、放射線の健康影響については負のイメージから始まるものであるため、放射線を得体のしれない不明確なものとして漠然と「怖い」「危険」と考えており、現在でも多くの国民が、何が正しく何が誤りなのかを判断できない状況にある。</p> <p>その一方で医療において放射線が果たしてきた役割は大きく、放射線診療による疾病の早期発見や治療は、患者や被験者にとって便益を与えている。本学会は医療放射線に関わる職種の学術団体として、これまでも医療放射線を身近に感じ、また放射線に関する知識を市民に伝えるべく、数多くの公開シンポジウムを実施し、市民が抱く放射線に対する疑問や不安を知り、何をどのように伝えるべきか、そのノウハウを取得してきた。</p> <p>そこで本公開講座では、放射線の健康影響や、身の回りにある放射線、医療放射線と被ばくについて講義することで、一般市民に放射線について正しく理解し判断する機会を提供することを目的とした。</p>
シンポジウム・学術講演会の概要	<p>本講座では以下の3講演を実施した。</p> <p>講演1 放射線の健康影響 –エビデンスにもとづいて– (放射線医学総合研究所 島田義也氏) :</p> <p>低線量放射線の健康影響について、原爆被ばくやチェルノブイリ事故、医療における放射線被ばくなどの疫学調査や多くの動物実験に基づく科学的な知見等を基に客観的に解説した。妊婦・授乳婦の生活上の注意点を具体的に挙げ、今後いかに子どもを被ばくのリスクにさらさないかを考え、対応していくことの重要性を述べた。</p> <p>講演2 暮らしの中の放射線 –自然放射線と環境被ばく– (放射線医学総合研究所 田上恵子氏) :</p> <p>大地や大気、食物など、生活環境中からの放射線の現状、自然放射線と環境被ばくについて講演した。原発事故に関わらず、常に人は放射線と接していたことを理解することで、放射線を身近に感じ、怖がりすぎず冷静に判断するきっかけとなるよう解説した。</p> <p>講演3 医療の中での放射線 –医療放射線と医療被ばく– (千葉大学医学部附属病院 加藤英幸氏) :</p> <p>医療機関で用いられている放射線の種類や放射線診療機器、放射線診療内容、医療被ばくについて講演した。医療被ばくによる障害の具体例や、被ばくの正当化、最適化およびその管理について触れリスクと便益に基づいて放射線診療が行われていることを解説し、医療放射線に対する理解度を深めた。</p> <p>講演後は会場の一般市民からの質疑を受け付け、リスクの考え方や医療被ばくについて回答した。</p>

主催団体の事務連絡者	<p>〒 600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階 TEL: 075-354-8989 (内線 なし)</p> <p>所属・職名 公益社団法人 日本放射線技術学会・事務局長 FAX: 075-352-2556</p> <p>氏名 宮高 睦 E-mail: master@jsrt.or.jp</p>
------------	--